

平成28年度

提 案 書

「男女平等施策の効果的な情報発信と評価  
手法について」

平成28年10月

日野市男女平等推進委員会（第7期）



## 目 次

はじめに .....	1
■男女平等施策の効果的な情報発信と評価手法に係る提案 .....	2
1. 効果的な情報発信 .....	2
2. 効果的な評価手法 .....	13
第7期日野市男女平等推進委員会会議経過 .....	19
第7期日野市男女平等推進委員会委員名簿 .....	20

## はじめに

日野市は、男女平等施策の礎である5年間の計画「第3次日野市男女平等行動計画」（計画年度：平成28年度から32年度）を昨年度策定し、この計画に基づき、32施策78事業が既に実施されているところである。

第7期日野市男女平等推進委員会では、平成28年7月から市長の求めに応じ、「男女平等施策の効果的な情報発信と評価手法について」に関する調査・研究を行い、次の点について議論を進めてきた。

- ① 男女平等施策の効果的な情報発信については、「男女平等施策」を「第3次日野市男女平等行動計画」の8つの重点施策のうち、男女平等課単独で推進する4つの施策で具体的に検討することとした。
- ② 男女平等施策の効果的な評価手法については、「第3次日野市男女平等行動計画」に各施策の5年後の目標設定はあるが、評価手法については具体的な行動の記載がないことから、本年度設置された男女平等行動計画評価委員会（第7期男女平等推進委員のうち5名の委員で構成）が必要な評価手法を検討したところである。評価委員会からの報告に基づき、評価（チェック）から行動（アクション）へのしっかりとしたつながりが出来るための手法を検討することとした。

議論の結果については、第6期男女平等推進委員会から「創意工夫した情報発信」と「施策の進め方」として「効果的な情報発信と評価手法」の考え方や道筋が「提言書」として示されているため、それらをさらに具体的なアクションに繋げる「提案書」という形でまとめることとした。また、提案した一部の事業については、第7期男女平等推進委員自ら参画していくことを希望するものである。

本提案により、日野市の男女平等施策がさらに効果的に進められ、日野市男女平等基本条例の理念である男女平等社会の実現につながることを期待するとともに、我々もその一翼を担うつもりで提案するものである。

平成28年10月20日

第7期日野市男女平等推進委員会

## ■男女平等施策の効果的な情報発信と評価手法に係る提案

### 1. 効果的な情報発信

#### (1) 検討テーマの設定

男女平等施策の効果的な情報発信を提案するにあたり、まずどのような施策をテーマにすることが効果的な情報発信につながるかを考え、「第3次日野市男女平等行動計画」の8つの重点施策のうち、男女平等課単独で推進する4つの施策で検討した。この4つのテーマについては、5～12頁の表「効果的な情報発信（提案）」を用いて議論し、その結果をまとめた。

#### 【4つの施策】

A=男女共同参画

B=配偶者等からの暴力

C=ワーク・ライフ・バランス

D=防災における男女平等

#### 【表の見方】

- ① : 国の動き等について、取り組み状況を示した
- ② : 第3次日野市男女平等行動計画における施策名を記した
- ③ : 施策に対する直近の実施状況について記した
- ④ : 参加状況などの事業実績及びアンケート結果等を記した
- ⑤ : 実施結果に対する評価を記した
- ⑥ : 課題・問題点に対する提案事項を記した

#### (2) 効果的な情報発信に係る提案

効果的に情報発信することは、男女平等意識が多くの市民に浸透し、男女平等社会が実現していくために必要であることは言うまでもない。その中で、「より多くの人に伝えること」また「情報を必要としている人に十分伝えること」は、男女平等施策のどの事業においても共通して実施すべきポイントである。この点から、開催場所・参加すべきイベント・周知方法・開催の工夫を各施策共通の課題として取り上げ、共通した対応策を検討した。

特に、開催場所や参加すべきイベント、周知方法においては、人の多く集まるところで実施したり、既に多くの人が集まるイベントに積極的に参加すべきという意見があった。

内容によっては、人目を気にせず情報を収集したい方もいることから、特に施策に関連しないイベントに参加することも、情報を伝える工夫の一つとして挙げられた。

また伝え方として、世代に応じた発信方法や繰り返し発信すること、実施事業の組み合わせについても意見があった。これまでの広報だけでなく、ソーシャルネットワークキングサービス（SNS）の活用や講演会やパネル展などそれぞれ単独で行っていたものを組み合わせたり、クイズ形式の参加型イベントにするなどの意見があった。

また、これらの情報発信については、市民活動の支援から男女平等施策を広めていくこと、多様な主体と連携して取り組むことや男女平等推進委員が積極的に関わり取り組むことも意見として挙げられた。

これらを踏まえ、各施策に共通する効果的な情報発信について以下のとおり提案する。

### 1. 開催場所

- ・人の多く集まる場所・目に触れやすい場所
- ・例えばイオンモール多摩平の森などの商業施設、市の大きなイベントの中でアピール

### 2. 参加すべきイベント

- ・産業まつり、まちづくり市民フェア、手をつなごう・こどもまつりなど
- ・防災の日（9月） ※防災における男女平等

### 3. 周知方法

- ・イオンモール多摩平の森や児童館への掲示・配布
- ・パネル・ポスター・チラシ・広報ひの・市ホームページなどで常に繰り返しPR
- ・自治会回覧板の利用
- ・地域懇談会でのチラシ・資料の配布
- ・チラシなどは、ティッシュやボールペンなどの啓発グッズと一緒に配布
- ・のぼりを立てる
- ・広報ひので、男女共同参画週間に併せた特集号を組む  
（市役所内の他課で行う男女平等につながる事業も掲載）
- ・SNS（フェイスブックやツイッター）による情報発信

#### 4. 開催の工夫

- ・ニーズのある人に十分な情報が行き届くこと
- ・年間として訴えたいテーマを選んで繰り返し情報発信する
- ・講演会だけでなく、トークショーやパネル展示なども併せて行う
- ・有名人との座談会
- ・若い世代にも伝わる工夫、例えば参加型イベントなど  
(クイズ方式にしてゲーム性を求めたイベントなど)
- ・パンフレットは、ティッシュやボールペンなどの啓発グッズと一緒に配布

#### 5. 多様な主体との連携

- ・市民活動から男女平等社会の実現につなげていくよう、市民活動の積極的な情報収集と把握をし、関連する活動を支援する
- ・単独（男女平等課のみ）で事業展開を図るのではなく、多様な主体との連携を図る
- ・何かやってみたい人同士のマッチングや活動の場の提供など、地域の人や関係機関などの資源をつなぐ男女平等推進センターの役割を積極的にPRする

#### 6. その他

- ・男女平等推進委員が男女平等課とイベントに参加・出展し、具体的なアクションとして一緒にやってみる

以上のような情報発信（事業展開）により、男女平等が多くの市民に浸透し、当たり前を意識され、多くの市民が無意識に行動に移すような男女平等社会が実現していくことを期待したい。

# A 男女共同参画 に係る効果的な情報発信提案

## ◆ 施策の現状

①国の動き等	②第3次日野市男女平等行動計画
男女共同参画週間(毎年6/23~29):内閣府	家庭・学校・地域・職場等、あらゆる場面における男女平等意識・人権尊重意識を育てる
③実施事業(直近の状況等)	
<b>【A-①】男女共同参画パネル展</b> (平成28年6月16日~28日)	<b>【A-②】男女平等推進センターフォーラム</b> (平成28年2月6日)
対象: 市民 場所: イオンモール多摩平の森2Fスペース 情報発信: 広報ひの、市HP、イオンHP、チラシ掲示(多摩平の森ふれあい館)	対象: 市民 場所: 多摩平の森ふれあい館集会室 情報発信: 広報ひの、市HP、チラシ(市内公共施設、図書館、自主防災組織、民生委員他)
④実施結果	
来場者: 不特定の市民 ・長い時間全パネルを見ていく人はあまり見受けられなかったが、興味を引く目立つパネル(特にイクボス宣言)を通りがてらに見ていく人が多かった。 ・チラシラック上段に、DV相談窓口等の入ったクリアファイルを設置した。クリアファイルは期間中38冊減っていたが、残りのチラシは数枚づつしか減っていなかった。	出席者: 68名(女性約6割・男性約4割)※満席 出席者内訳: 自主防災組織・自治会29名、女性防災リーダー講座受講生14名、市内外団体(企業、日社協等)12名、推進委員・評価委員7名、その他6名 実施後アンケート結果: 理解が深まった87%/まあ深まった11%あまり深まらなかった2%
	
⑤結果に対する実施課評価	
・パネルは市民に身近な内容にするなど更なる工夫が必要。 ・開催場所は27年度までは多摩平の森ふれあい館と平山季重ふれあい館で行っていたものを、28年度よりイオンに変更。人通りが多い場所にはなったが、市の南側の住民への情報発信が課題。 ・チラシラック全部をクリアファイル付き(全チラシ入り)にしたり、ティッシュ等の物品配布など、検討の余地がある。	・アンケートより、「講習で学んだことを自主防災会に積極的に取り入れたい」(男性)、「今後は性別役割分担にとられない避難所運営が出来れば良い。意思決定の場に立つ女性が増えればよい」(女性)等、多くの受講者から感想が寄せられ好評だった。 ・「男女平等」「男女共同参画」を集中して発信することや実施内容の充実(有名人との座談会等も視野に)が必要。



◆ 当該施策推進のための提案

⑥課題・問題点	提案事項
1. 開催場所の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客のある商業施設(イオンモール多摩平の森など)</li> <li>理由①アクセスが便利</li> <li>②集客力があること</li> <li>③利用客が多いので掲示を見る方々も特化される不安なく来場できること</li> <li>④フォーラムには、イオンモール多摩平3階のイオンホールが活用できること</li> </ul>
2. 参加すべきイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業まつり、まちづくり市民フェア、手をつなごう・こどもまつりなど</li> <li>理由①日野市主催であること</li> <li>②市民が多く集まること</li> </ul>
3. 周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール多摩平の森の出入口、インフォメーションコーナーにてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・児童館や市役所等にてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・自治会回覧板、民生委員、児童委員、学校関係へチラシ・ポスターの配布</li> <li>・チラシなどは啓発グッズと併せて配布</li> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> <li>・市内各所にのぼりを立てる</li> <li>理由①多くの人目に触れるため</li> <li>・広報ひのでの特集</li> <li>理由①市で実施している事業を一度に紹介し、目立たせる</li> <li>・SNS(フェイスブックやツイッター)による情報発信</li> <li>理由①若い人たちに関心を持ってもらうため</li> </ul>
4. 開催の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会とパネル展を同時に開催</li> <li>理由①見て、聞いて実感してもらうため</li> <li>②イオンモール多摩平の森のイオンホールならば対応可能なスペースがある</li> <li>・クイズ形式などの参加型での開催</li> <li>理由①若い人たちにも関心を持ってもらうため</li> <li>・パンフレットなどは啓発グッズと併せて配布</li> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> <li>・毎年テーマを設定し、一貫した取り組みを行う</li> <li>理由①独りよがりでない、共感をよぶようにするため</li> <li>・有名人との座談会</li> <li>理由①多くの人に注目してもらうため</li> </ul>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等課と男女平等推進委員で行動する</li> <li>理由①イベント参加への展開には多くの人員が必要</li> </ul>

## B 配偶者等からの暴力に係る効果的な情報発信提案

### ◆ 施策の現状

①国の動き等	②第3次日野市男女平等行動計画
女性に対する暴力をなくす運動(毎年11/12～25):内閣府	配偶者等からの暴力(DV)の防止・対応の強化
③実施事業(直近の状況等)	
【B-①】 DV撲滅啓発パネル展 (平成27年11月3日～29日)	【B-②】 DV被害者支援研修会(講演会) (平成27年10月15日)
対象: 市民 場所: 平成27年度は市役所1Fと多摩平の森ふれあい館。平成28年度はイオンモール多摩平の森 情報発信: 広報ひの、市HP	対象: 市民、DV被害者支援関係者、市職員他 場所: ひの煉瓦ホール(市民会館) 情報発信: 広報ひの、市HP、チラシ(市内公共施設、図書館、子育て支援関係者、民生委員他)
④実施結果	
来庁者・来館者: 不特定の市民 実施後アンケート結果: * 関心や理解が深まった9名/どちらでもない5名/深まらなかった28名 * 身近な方が暴力で悩んでいたら何ができるか: 悩みをしっかりと受け止める7名/専門の相談機関を紹介する9名/あなたは決して悪くないと伝える12名 チラシやリーフレット: 残が多かった。	出席者: 105名(女性80名・男性25名) 出席者内訳: 市民34名・害者支援施設等職員30名・自治体職員27名・地域の支援者4名他 実施後アンケート結果: * 関心や理解が深まった61.6%/まあ深まった36.4% * 意識変化につながった91.9%/つながらなかった4%
	
⑤結果に対する実施課評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち止まって見ていく人が少なく、パネルの内容にもっと工夫が必要。</li> <li>・開催場所の改善が必要(人通りの多い場所や集客力のあるイベント会場など)</li> <li>・チラシやリーフレットのみだとなかなか持つていく市民は少ないので、クリアファイルやティッシュなどの物品も一緒に配布するなどの工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者(DV被害者支援関係者)から「DVは夫婦間だけでなく子どもたちにも深く影響していることがわかった」「シェルターにいた子を預かっている。今後の支援の姿勢について考えさせられた」などの感想が寄せられ意義深かった。</li> <li>・一方、「企画・PRにもう少し力を入れてより多くの市民が受講する方策を考えてほしい」との意見もあり、テーマやターゲットに応じた市民向けの情報発信を工夫する必要がある。</li> </ul>

◆ 当該施策推進のための提案

⑥課題・問題点	提案事項
1. 開催場所の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客のある商業施設(イオンモール多摩平の森など)</li> <li>理由①アクセスが便利</li> <li>②集客力があること</li> <li>③利用客が多いので掲示を見る方々も特化される不安なく来場できること</li> <li>④フォーラムには、イオンモール多摩平3階のイオンホールが活用できること</li> </ul>
2. 参加すべきイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業まつり、まちづくり市民フェア、手をつなごう・こどもまつりなど</li> <li>理由①日野市主催であること</li> <li>②市民が多く集まること</li> </ul>
3. 周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール多摩平の森の出入口、インフォメーションコーナーにてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・児童館や市役所等にてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・自治会回覧板、民生委員、児童委員、学校関係へチラシ・ポスターの配布</li> <li>・チラシなどは啓発グッズと併せて配布</li> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> <li>・市内各所にのぼりを立てる</li> <li>理由①多くの人目に触れるため</li> <li>・SNS(フェイスブックやツイッター)による情報発信</li> <li>理由①若い人たちに興味を持ってもらうため</li> </ul>
4. 開催の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会とトークコーナー、パネル展を同時に開催</li> <li>理由①見て、聞いて実感してもらうため</li> <li>②イオンモール多摩平の森のイオンホールならば対応可能なスペースがある</li> <li>③パネル展示は、エントランスフロアが目に入る</li> <li>・イベントに参加した際は、相談コーナーも設置</li> <li>理由①DVは一部の人にはではなく、いつでもどこでも、誰にも起こりうる問題であること、一人で悩まないでというメッセージをくり返し伝えるため</li> <li>・クイズ形式などの参加型での開催</li> <li>理由①若い人たちにも興味を持ってもらうため</li> <li>・パンフレットなどは啓発グッズと併せて配布</li> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> <li>・毎年テーマを設定し、一貫した取り組みを行う</li> <li>理由①独りよがりでない、共感をよぶようにするため</li> </ul>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等課と男女平等推進委員で行動する</li> <li>理由①イベント参加への展開には多くの人員が必要</li> </ul>

## C ワーク・ライフ・バランスに係る効果的な情報発信提案

### ◆ 施策の現状

①国の動き等	②第3次日野市男女平等行動計画
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための国民運動(平成20年度~):内閣府	ワーク・ライフ・バランスの啓発と推進
③実施事業(直近の状況等)	
【C-①】イクボス宣言 (平成28年5月23日)	【C-②】講座 (平成28年9月10日)※27年度の実施はなし
対象: 市民・事業者・社会に向けメッセージ 内容: 日野市長と実践女子学園理事長が共同で「イクボス宣言」 情報発信: TV・新聞、広報ひの、市HP、実践女子学園HP、パネル展示(イオン店内)他	対象: 働く夫婦、市民 場所: 多摩平の森ふれあい館集会室 情報発信: 広報ひの、市HP、チラシ(市内公共施設、図書館、他)
④実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備段階から市のシティセールス・情報発信担当と連携し、事前にプレス発表を行ったため、NHKニュースで放映されたり一般紙に掲載されたりと、インパクトがあった。</li> <li>・イクボス宣言直後、日野市の部長職や関連部署職員(23名)がワーク・ライフ・バランス等の講演を聴講した。</li> <li>・平成28年6~7月に庁内の全管理職・全職員に、ワーク・ライフ・バランスに関するアンケート調査を行った。</li> </ul>	出席者: 8名(市内5名、市外3名) 実施後アンケート結果: *すべての参加者から、「講師の話はわかりやすかった」、「参加して得るものがあった」との回答をいただいた。
	
⑤結果に対する実施課評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「イクボス宣言後」の取組みが重要であるため、月に1回、実践女子学園と打合せを行い、情報交換や協働で行う取組み(講演など)を企画。今後も大学との協働の利点を生かしたい。</li> <li>・庁内アンケート結果で明らかになった課題をどう改善していくか、関連課との協議、アクションが必要。</li> <li>・市の率先行動として、市民や市内の企業に効果的に啓発する方法が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は30代の女性が最も多く、ほとんどが夫婦共働きで育児をされている方であった。</li> <li>・前向きな感想やご意見も多く、参加者にとって非常に有意義な時間になったのではないかと。</li> </ul>


◆ 当該施策推進のための提案

⑥課題・問題点	提案事項
1. 開催場所の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客のある商業施設(イオンモール多摩平の森など)</li> <li>理由①アクセスが便利</li> <li>②集客力があること</li> <li>③利用客が多いので掲示を見る方々も特化される不安なく来場できること</li> <li>④フォーラムには、イオンモール多摩平3階のイオンホールが活用できること</li> </ul>
2. 参加すべきイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業まつり、まちづくり市民フェア、手をつなごう・こどもまつりなど</li> <li>理由①日野市主催であること</li> <li>②市民が多く集まること</li> </ul>
3. 周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール多摩平の森の出入口、インフォメーションコーナーにてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・児童館や市役所等にてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・自治会回覧板、民生委員、児童委員、学校関係へチラシ・ポスターの配布</li> <li>・チラシなどは啓発グッズと併せて配布</li> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> <li>・市内各所にのぼりを立てる</li> <li>理由①多くの人目に触れるため</li> <li>・広報ひのでの特集</li> <li>理由①市で実施している事業を一度に紹介し、目立たせる</li> <li>・SNS(フェイスブックやツイッター)による情報発信</li> <li>理由①若い人たちに興味を持ってもらうため</li> </ul>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等課と男女平等推進委員で行動する</li> <li>理由①イベント参加への展開には多くの人員が必要</li> </ul>



## D 防災における男女平等に係る効果的な情報発信提案

### ◆ 施策の現状

①国の動き等	②第3次日野市男女平等行動計画
男女共同参画週間(毎年6/23~29):内閣府	防災対策における女性の参画推進
③実施事業(直近の状況等)	
<b>【D-①】女性防災リーダー育成講座</b> (平成27年11月6日・13日・20日・27日)	<b>【D-②】男女平等推進センターフォーラム(再掲)</b> (平成28年2月6日)
対象: 地域防災に関心のある女性(市民) 場所: 多摩平の森ふれあい館 情報発信: 広報ひの、市HP、チラシ(市内公共施設、図書館、自主防災組織、民生委員他)	対象: 市民 場所: 多摩平の森ふれあい館集会室 情報発信: 広報ひの、市HP、チラシ(市内公共施設、図書館、自主防災組織、民生委員他)
④実施結果	
出席者:36名 ※満席 (活動歴:有17名、無16名 *アンケートより) 実施後アンケート結果: ・参加のきっかけ 市報11名、関心がある・活躍したい17名、防災組織の役員だから10名※複数回答有 ・理解が深まった→ ほぼ全員 ・防災リーダーの今後の活躍→「活躍したい」が「まだわからない」を上回っていた。	出席者:68名(女性約6割・男性約4割)※満席 出席者内訳: 自主防災組織・自治会29名、女性防災リーダー講座受講生14名、市内外団体(企業、日社協等)12名、推進委員・評価委員7名、その他6名 実施後アンケート結果: 理解が深まった87%/まあ深まった11%/あまり深まらなかった2%
	
⑤結果に対する実施課評価	
・アンケートより、「この様な講座を地域や市全体でもっと取り組んでほしい」「70代の男性役員に女性たちの困難をどう理解してもらうかが課題だが勇気づけられた」等、多くの受講者から感想が寄せられ好評だった。 ・女性防災リーダーの裾野を広げることは今後も必要。 ・防災安全課とのさらなる連携が必要。	・アンケートより、「講習で学んだことを自主防災会に積極的に取り入れたい」(男性)、「今後は性別役割分担にとられない避難所運営が出来れば良い。意思決定の場に立つ女性が増えればよい」(女性)等、多くの受講者から感想が寄せられ好評だった。 ・「男女平等」「男女共同参画」を集中して発信することや実施内容の充実(有名人との座談会等も視野に)が必要。

◆ 当該施策推進のための提案

⑥課題・問題点	提案事項
1. 開催場所の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客のある商業施設(イオンモール多摩平の森など)               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①アクセスが便利</li> <li>②集客力があること</li> <li>③利用客が多いので掲示を見る方々も特化される不安なく来場できること</li> <li>④フォーラムには、イオンモール多摩平3階のイオンホールが活用できること</li> </ul> </li> </ul>
2. 参加すべきイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業まつり、まちづくり市民フェア、手をつなごう・こどもまつりなど               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①日野市主催であること</li> <li>②市民が多く集まること</li> </ul> </li> <li>・防災の日               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①災害等に関心が集まるときだから</li> </ul> </li> </ul>
3. 周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール多摩平の森の出入口、インフォメーションコーナーにてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・児童館や市役所等にてチラシ配布・ポスター掲示</li> <li>・自治会回覧板、民生委員、児童委員、学校関係へチラシ・ポスターの配布</li> <li>・地域懇談会でのチラシ・資料配布               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①地域に広めるため</li> </ul> </li> <li>・チラシなどは啓発グッズと併せて配布               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> </ul> </li> <li>・SNS(フェイスブックやツイッター)による情報発信               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①若い人たちに関心を持ってもらうため</li> </ul> </li> </ul>
4. 開催の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座談会形式での開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①参加者の体験談により実感してもらうため</li> </ul> </li> <li>・座談会とパネル展を同時に開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①見て、聞いて実感してもらうため</li> <li>②イオンモール多摩平の森のイオンホールならば対応可能なスペースがある</li> </ul> </li> <li>・パンフレットなどは啓発グッズと併せて配布               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①多くの人に受け取ってもらうため</li> </ul> </li> <li>・毎年テーマを設定し、一貫した取り組みを行う               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由①防災や災害からの復興には、多様な視点が必要であることを伝えるため</li> </ul> </li> </ul>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等課と一緒に、推進委員としてまず何かアクションとしてやってみてはどうか。(大きいイベントのブースなどで)</li> </ul>

## 2. 効果的な評価手法

### (1) 検討の経緯

第6期日野市男女平等推進委員会の平成27年度提言書では、男女平等施策を効果的に推進するために必要な事項として「施策の進め方」が取り上げられた。

その提言の中では、PDCAサイクルが行われているものの、効果的な展開が図れていないことを指摘している。特に、「評価（Check）から改善に向けての行動（Action）へのつながりがしっかり出来ていない」ことを問題とし、「次の計画への有機的な連動」が求められた。目標到達のためには、成果目標を設定することが必要であり、その目標の確認のためには、市民の意識や実態を定期的に調査することも指摘している。

この点を踏まえ、男女平等施策の進め方を示す『第3次日野市男女平等行動計画』には、各施策の事業単位で5年後の目標を掲げ、男女平等施策を推進していくものとしている。

しかし、具体的な評価手法については明記されていないため、今回、第7期日野市男女平等推進委員会の平成28年度における「男女平等施策の効果的な評価手法について」の検討において、男女平等施策を推進している『第3次日野市男女平等行動計画』をいかに効果的に評価し、推進していくかという視点で取りまとめることとした。

### (2) 効果的な評価手法に係る提案

『第2次日野市男女平等行動計画』（平成23年度～平成27年度）までの評価手法は、

- ①担当課が109事業の進捗を評価し、
- ②その中から10から15事業をピックアップし、日野市行政推進本部男女平行動計画評価委員会及び、日野市男女平等行動計画市民評価委員会による事業評価を実施していた。

この手法では、

- ①特定の事業しか評価せず、計画がめざす姿の進捗が把握できない。
- ②施策の中で市民ニーズに沿った展開につながるような事業の見直しに反映できない。

といった点も浮き彫りになっていた。

そこで、『第3次日野市男女平等行動計画』（平成28年度～平成32年度）



からの評価方法は、

- ①担当課が78事業の進捗を評価し、
- ②担当課評価をもとに、日野市行政推進本部男女平等行動計画評価委員会において32施策の評価を実施
- ③担当課評価および行政推進本部評価を参考に、重点施策となっている8施策について日野市男女平等行動計画市民評価委員会による評価を実施する。

以上の方法で行うことにより、

- ①施策ごとに幅広い視点で評価し、進捗を把握することで市民ニーズに沿った展開を図ることができる。
- ②施策の中で、必要な事業の見直しをすることができるようになる。

また、この評価を行うためには、担当課や、日野市行政推進本部男女平等行動計画評価委員会、日野市男女平等行動計画市民評価委員会が内容や意見を記す様式が必要である。

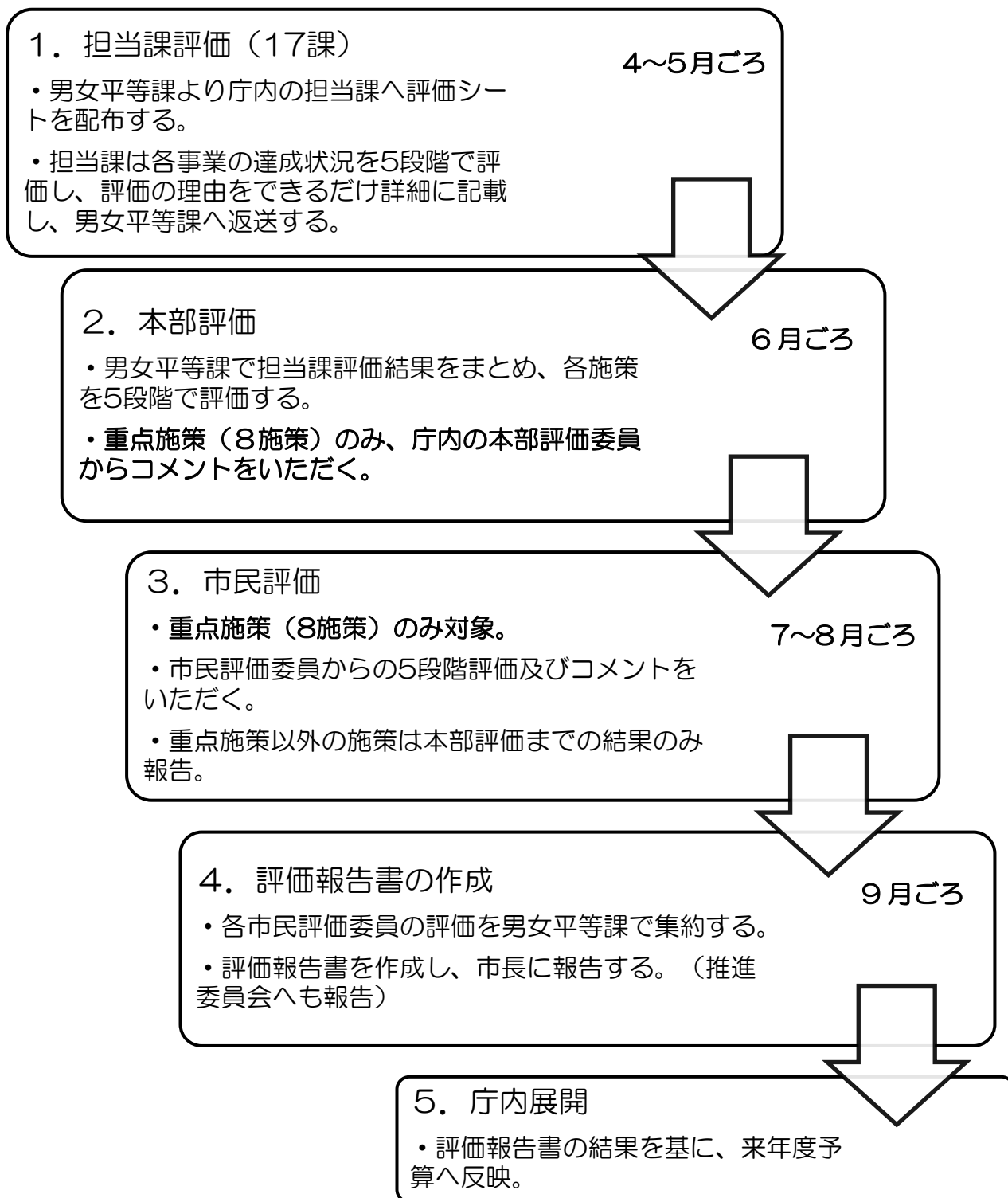
まず担当課が、目標設定（P）をし、その目標に対する評価（C）及び今後の課題（A）を記し、その評価に基づく日野市行政推進本部男女平等行動計画評価委員会の評価（C）及び改善に向けたコメント（A）、そして、日野市男女平等行動計画市民評価委員会による評価（C）及び改善に向けたコメント（A）をまとめるものとする。

これら一連の流れを、事業終了後の翌年度当初より始め、評価書のまとめを9月までに行い、次年度への事業見直しと予算への反映へつなげるものとする。施策の効果的な推進のため、評価から改善の流れをスピーディにまた的確に行うためには、評価も短期間で行うことが重要とされるところである。

以下、『日野市第3次男女平等行動計画』評価の流れ（案）と、評価シート（案）を示すので、参考とされたい。

## 第3次日野市男女平等行動計画 評価の流れ（案）

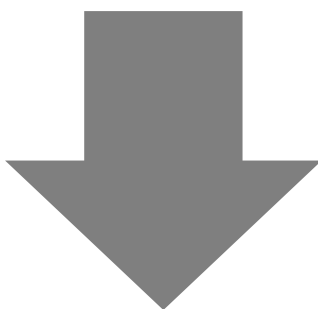
### 1. 平成28年度以降の実施事業・施策に対する評価（平成29年度以降に実施） の流れ



## 2. 評価方法の主な変更点

### これまでの評価＜事業評価＞

- 担当課が事業の進捗を評価。(109 事業)
- 担当課評価実施後、ピックアップした 10～15 事業のみ本部及び市民評価を実施。  
↓
- 特定の事業しか評価せず、計画がめざす姿の進捗が把握できない。
- 施策の中で市民ニーズに沿った展開につながるような事業の見直しに反映できない。



### これからの評価＜施策評価＞

- 担当課が事業の進捗を評価。(78 事業)
- 担当課評価を基に、本部評価で 32 施策の評価を実施。
- 担当課評価、本部評価を参考に、重点施策 (8 施策) のみ市民評価を実施。  
↓
- 施策ごとに幅広い視点で評価し、進捗を把握することで市民ニーズに沿った展開を図ることができる。
- 施策の中で、必要な事業の見直しをすることができるようになる。

<b>I-1-1 ★重点施策</b>	<b>家庭・学校・地域・職場等、あらゆる場面における男女平等意識・人権尊重意識を育てる</b>	<b>担当課</b>	<b>学校課・子育て課・保育課・男女平等課・中央公民館・市長公室・総務課(←企画調整課)</b>
--------------------	---	------------	--

**1.第3次日野市男女平等行動計画(平成28年度～32年度)での位置づけ**

目標 I 人権が尊重される社会づくり  
 施策の 1 性別に基づく役割分担意識による社会慣行をなくす  
 方向性

- 家族・学校・地域・職場等、あらゆる場面における男女平等意識・人権尊重意識を育てる  
 男女とも一人ひとりが、自立と思いやりの意識を育み、個人の尊厳と男女平等の理念を推進するための教育、及び広報・啓発活動を実施します。家庭、学校、地域や職場などにおける男女平等・人権尊重のさらなる意識づけをめざし、学習機会(研修など各種講座、情報紙やホームページを活用した情報提供等)を充実します。また、性的指向や性同一性障害を理由として困難な状況に置かれることのないよう、誰もが多様性を認める意識づくりを行います。
- メディア・リテラシー(情報を適切に読み解き・活用する力)の普及と教育  
 市が発行する広報、出版物、刊行物などについて、性差別、性別に基づく役割分担を固定化する表現、偏見及び女性の性を商品化した表現を使わないよう徹底します。さらに、市民、事業者がさまざまなメディアからの情報を無条件に受け入れるのではなく、人権尊重の視点で情報を主体的かつ客観的に解釈・選択し、適切に発信することができるように情報提供を行います。

**2.各事業の達成状況(担当課評価)**

<達成状況の評価>  
 5:大いに達成できた 4:やや達成できた 3:どちらともいえない 2:やや達成できなかった 1:達成できなかった

No.	事業	担当課	内容	年度ごとの計画・目標			計画上の目標	達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
1	保育士・教職員などへの男女平等意識の醸成	学校課・子育て課・保育課	子どもの保育や教育などに携わる保育士・教職員などに職員研修等による男女平等意識の普及・啓発を図る。				保育士・教職員などの男女平等意識が高まっている。						
2	学校現場における男女平等参画の推進	学校課	学校生活において、男女の固定的な役割分担による偏りをなくす取り組みをする。				各教科等において、男女平等教育に関わる内容を適切に取上げ、互いの違いを認めつつ、個人として尊重される学校づくりが行われている。						
3	家庭・地域・職場での男女平等参画に関する各種講座の実施	男女平等課・中央公民館	男女平等参画に関する情報を収集し市民へ提供する。性差別、性別に基づく固定的役割分担意識及び偏見などを解消し、一人ひとりが男女平等に関する認識を深めるための講座など、学習の機会を提供する。				各種講座が実施され、市民の男女平等・人権尊重意識が高まっている。						
4	情報紙(男女平等推進センターだより)の発行と配布	男女平等課	情報紙(男女平等推進センターだより)を発行する。				男女平等推進センターだよりの発信により、市民の男女平等・人権尊重意識が高まっている。 発行回数1回/年						
5	ホームページを活用した情報提供の充実化	男女平等課	男女平等推進センターのホームページを活用し、情報提供を行うために内容を充実する。男女平等に関する国際規範・基準に関する情報提供を行う。				見やすいホームページを発信し、市民の男女平等・人権尊重意識が高まっている。 情報発信数2回以上/年						
6	男女平等に関する図書・視聴覚教材の貸出と充実化	男女平等課	市民貸出し用の男女平等推進センターの図書・視聴覚教材などの充実化を図る。				図書・視聴覚教材などを活用し、市民の男女平等・人権尊重意識が高まっている。						
7	新しい人権を尊重する意識の醸成と相談体制の整備	男女平等課・市長公室・総務課(←企画調整課)	多様な性、多様な生き方を認める人権尊重の意識づくりと理解促進(性的少数者など)のための情報提供を行い、相談体制を整備する。				学習機会の提供等により、新しい人権尊重意識が高まり、相談体制も整っている。						

**P**

**計画最終年度の目標を達成するため、何をどうするのかを記載**

**28年度の達成度を踏まえ3か年分記載し、年度ごとに見直し**

**見直しの際には本部評価及び市民評価の**

**A(案)**

**をできる限り反映させる**

**C**

**プルダウンから評価点を選択(5段階評価)**

**担当課が複数ある場合は各課評価点の平均値**

I-1-1 ★重点施策	家庭・学校・地域・職場等、あらゆる場面における男女平等意識・人権尊重意識を育てる	担当課	学校課・子育て課・保育課・男女平等課・中央公民館・市長公室・総務課(←企画調整課)
-------------	--	-----	---

3.達成状況 評価の理由(担当課評価)

事業内容について		
実施できたこと	実施できなかったこと	今後の課題
<p>D</p> <p>A</p>	<p>できるだけ具体的に記載 ※出来なかった理由を明確にすること ※前年度の評価委員からのコメントに対する対応については特に記載すること</p>	<p>A</p>
年度目標・計画上の目標について		
達成できたこと	達成できなかったこと	今後の課題
<p>D</p> <p>A</p>	<p>できるだけ具体的に記載 ※出来なかった理由を明確にすること ※前年度の評価委員からのコメントに対する対応については特に記載すること</p>	<p>A</p>

4.施策の評価(本部評価)

<input type="text"/>	<p>担当課評価を基に評価</p>	
本部評価委員 コメント		
<p>C</p>	<p>重点施策のみ記載</p>	<p>A(案)</p>

5.施策の評価(市民評価)

市民評価委員 コメント		
<p>C</p>	<p>重点施策のみ記載</p>	<p>A(案)</p>

- P...Plan** 計画
- D...Do** 実行
- C...Check** 評価
- A...Action** 行動

担当課は次年度の **P** に反映

## 第7期日野市男女平等推進委員会 会議経過

平成28年度

回	開催日	内容
第1回	平成28年7月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度日野市男女平等推進委員会に意見を求める事項について</li> <li>・日野市男女平等推進委員会等の再構成について</li> <li>・今後の進め方・日程（案）について</li> </ul>
第2回	平成28年9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次日野市男女平等行動計画 平成27年度施策・事業評価について（報告）</li> <li>・男女平等施策の効果的な情報発信と評価手法について（意見交換）</li> </ul>
第3回	平成28年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等施策の効果的な情報発信と評価手法について（まとめ）</li> </ul>
第4回	平成28年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長への提案書「男女平等施策の効果的な情報発信と評価手法」の提出</li> </ul>

第7期日野市男女平等推進委員会

平成28年度委員名簿

任期 平成28年7月1日～平成30年6月30日

( 会 長 ) 細江 容子

( 副 会 長 ) 西村 純子

( 委 員 ) 石垣 淳子

大木 八重子

小俣 彰男

黒川 昭夫

小池 孝範

佐橋 典子

田原 瑞穂

本木 伊佐夫